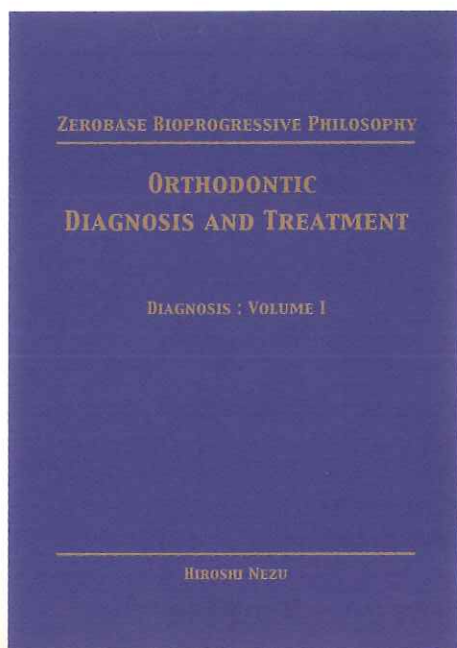


臨床の難易度に応じた個別化を行うための包括的臨床体系

# ゼロベース・バイオプログレッシブ法の診断と治療

## 診断編

著者 根津 浩



ゼロベース・バイオプログレッシブ法は Ricketts, R M が創始した Bioprogressive Philosophy と Guigino, C F の提唱する Zerobase Orthodontics という2つの臨床体系が融合したものである。

Bioprogressive Philosophy はユーティリティアーチとセクショナルアーチによる歯列弓分割化のテクニックをはじめ、解剖、生理学的背景にもとづく診断治療計画の立案、成長を加味した治療目標（VTP）の設定、段階的な治療術式と不正咬合のアンロッキング、咬合理論、保定などを包含する広範な臨床体系である。

一方、Zerobase Orthodontics は矯正診断における多面的な情報を一定の論理的思考フロー、すなわち、ゼロベースライン・ロジックに沿って集積、体系化して推論するという帰納的な理論体系にもとづいている。

両者の融合した Zerobase Bioprogressive Philosophy は、単なるテクニックを指すものではなく、診断・治療目標（VTP）・治療メカニクスの3者を直結させ、臨床の難易度に応じた個別化を行うための包括的な臨床体系の一つである。

本書は、上記の Zerobase Bioprogressive Philosophy にもとづく矯正診断と治療について「診断編」と「治療編」にまとめたものである。

「序文」より引用・要約



販売予定日：11月8日

著者：根津 浩

サイズ：A4判／2分冊608ページ

発行元：クインテッセンス出版

発売元：株式会社 JM Ortho

〔定価〕 42000円＋税

お申し込みは、お出入りの歯科商店、または最寄りの株式会社JM Orthoまで。

# 診断・治療目標 (VTP) ・治療メカニクスを直結する

はじめに  
Foreword  
緒言

## 診断編 Volume 1 Volume 1

### Chapter 1 ゼロベース・バイオプログレッシブ法 (ZBP) 概説

- 1-1 序文
- 1-2 Zerobase Bioprogressive Philosophy 命名の由来

### Chapter 2 矯正診断に必要な正・側面セファロメトリクスの基礎知識

- 2-1 分析に必要なトレーシング (読像), ポイント, 平面
- 2-2 分析項目と Clinical norms: 包括的記載分析と日本人の Clinical norms
- 2-3 成長予測法の応用
- 2-4 CO-CR コンバージョン

### Chapter 3 コーンビーム CT (CBCT) の矯正臨床への応用

- 3-1 CBCT の特徴
- 3-2 CBCT の矯正臨床への応用
- 3-3 顎顔面の三次元的解析
- 3-4 顎顔面の深部構造の記載
- 3-5 顎顔面の構造上の制限ファクター
- 3-6 機能的な問題の制限ファクター
- 3-7 TMJ の三次元的記載と診断
- 3-8 その他 (埋伏歯など) の異常の診断
- 3-9 治療経過, 結果の評価
- 3-10 CBCT の汎用性と今後

## 診断編 Volume 2 Volume 2

### Chapter 4 ゼロベース・バイオプログレッシブ法の診断・治療計画システム

- 4-1 ゼロベース診断・治療計画システム
- 4-2 概念によるメカニクスの選択
- 4-3 ZBP part 1 矯正歯科における臨床診査
- 4-4 ZBP part 4 歯列・咬合の記載

### Chapter 5 VTP (視覚的な治療目標) 概説

- 5-1 VTP とは
- 5-2 VTP の臨床的意義
- 5-3 治療の進行と VTP の機能
- 5-4 日本人症例の VTP 作成上の問題
- 5-5 VTP 作成前の思考過程
- 5-6 Regular VTP の作成
- 5-7 Management VTP の特徴

### Chapter 6 ZBP part 8 VTP の作成

- 6-1 正貌 VTP の作成
- 6-2 側貌 VTP の作成
- 6-3 軟組織 VTP の理論と作成
- 6-4 VTP 作成に考慮すべき前歯のニュートラルゾーン

### Chapter 7 ZBP part 9 VTP の個別化

- 7-1 VTP の個別化の必要性
- 7-2 重ね合わせ法の意義
- 7-3 重ね合わせによる評価
- 7-4 Ricketts の重ね合わせ 4 ステップ法
- 7-5 5 つの重ね合わせ部位と 7 つの評価部位
- 7-6 VTP 個別化のフロー
- 7-7 カルテ上の VTP の個別化
- 7-8 左右側別の Denture control と VTP
- 7-9 非抜歯治療フローと治療期間の予測
- 7-10 例示症例の治療経過 (口腔内)
- 7-11 例示症例の治療結果と保定

## 「ゼロベース・バイオプログレッシブ法の診断と治療」申込書

氏名	
医院名 (大学名)	電話 ( ) —
お届け先	